

梅雨の晴れ間にのぞむ五月山に、夏の気配を感じる季節となりました。

6月1日に晴天の下、OPH石橋テラス敷地内にオープンした地域子育て支援拠点「てしまの森」を視察しました。この施設では、児童福祉法に基づき、子育ての不安感などを緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的として、乳幼児と保護者が相互に交流し、子育てについての相談や講習会、イベントなどを行います。「てしまの森」という名称は、地域に根差し、心地よい生命力あふれる森のような居場所でありたいという願いが込められています。ご利用をお待ちしております。

さて、大阪北部地震や大規模な停電被害をもたらした平成30年台風21号の発生から3年が経過します。夏から秋にかけては、大雨・台風などによる自然災害が多く発生する季節となります。今年も新型コロナウイルス感染症について予断を許さない状況が続いており、これら自然災害が同時かつ複合的に発生する恐れがあり警戒が必要です。災害の種類によって、想定される危険や対応は異なりますので、それぞれの災害をイメージして、どのように行動すれば安全に対処できるのかを、感染対策も忘れずに、事前に備えていただくようお願いいたします。地域のコミュニティで互いに助け合うことも心掛けてください。できれば家族や大切な人と一緒に、一人ひとりの防災計画である「マイタイムライン」を作ってみられてはいかがでしょうか。 ※詳しくは本誌特集をご覧ください。

また、災害対策基本法が改正され、避難情報における「避難勧告」が廃止され

ましたのでご注意ください。災害発生の際に、恐れがある場合は、まず高齢者などの避難を促す「高齢者等避難」、次に全員の避難を促す「避難指示」、災害が発生または切迫した場合は、直ちに安全の確保を促す「緊急安全確保」となります。

ところで、大阪教育大学附属池田小学校の事件から20年が経過しました。7月10日には、水月公園にて市民安全のつどいを開催し、市内の子どもたちが、安全宣言文「誓いの言葉」を朗読します。この事件を機に、安全パトロール隊が市内全域を巡回してきました。今では高齢者に向けて新型コロナウイルスや特殊詐欺に関する情報も発信しています。

私たちは、さまざまなリスクが地域に潜む中でも、子どもたちが未来に希望をもって、安全で安心して暮らすことのできる地域を築いていく責任があります。至らない点は反省するとともに、地域の安全・安心のために日々尽力していくことをあらためて誓いいたします。

末筆ながら、明けぬ梅雨はありませぬ。梅雨明けの光り輝く五月山をまちわびつつ、皆さまが健やかな日々をお過ごしになられますようお祈り申し上げます。



池田市長 富田 裕樹

目次

2~5	特集 — 災害は忘れた頃にやってくる — 事前に備え、行動へ
6~8	市政トピックス 公営企業業務報告／議長に前田氏、副議長に西垣氏／いけだ健康フェスタ
10~23	市からのお知らせコーナー 募集、催し、税金・保険年金、環境・安全、相談・その他、福祉、高齢者、健康、スポーツ
24~27	子育て情報 いけだっ子
28	伝言板
29	市民文化会館の催し
30	池田報道 市民記者が行く！
31~33	市政トピックス 市長の資産公開／東京2020パラリンピック聖火フェスティバル／介護保険施設などの食費・居住費の減額について／社会人落語 日本一決定戦
34	くらしの窓口／健康相談Q&A
35	PHOTO ニュース

今月の表紙



今年も台風シーズンがやって来ました。皆さんの自宅には表紙の防災グッズはどれくらいお揃いですか？自然災害から身を守るためには、一人ひとりの防災意識の向上と災害をイメージした事前の備えが重要です。今月の特集を読んで、もう一度災害への備えを見直しましょう。

池田市ホームページ
<https://www.city.ikeda.osaka.jp/>

広報 **いけだ**

2021.7